

2.5 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

なお、都合により転載できない文献は、2.4 に一覧表を掲載している。

2.1 論文・技術報告等

- 1) 岩本 一将・大石 智弘 (2024) 米国ノーマルの Uptown Normal Roundabout 事業にみる実施体制と事業評価—道路空間の再編による空間デザインと機能—、土木学会論文集, Vol. 80, No. 3、
- 2) 金 甫炫・松本 浩 (2023) グリーンインフラや緑地の計画等に資する地表面データに関する調査研究、日本緑化工学会 49(1) 、141-144
- 3) 飯塚 康雄・松本 浩 (2023) 、のり面緑化におけるシカ被害対策の効果検証、第 35 回日本道路会議論文集 (HP) 、(公社) 日本道路協会、第 35 回
- 4) 飛田 ちづる・松本 浩 (2023) 、まち空間と融合した河川空間実現過程に関する基礎調査、2023 年度土木学会景観デザイン研究発表会原稿集、229-233

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 5) 松本 浩 金 甫炫 (2023) 河川を活かした公園緑地が有するグリーンインフラとしての機能に関する研究、2023 年度日本造園学会全国大会、C10
- 6) 金 甫炫・松本 浩・大石 智弘 (2023) グリーンインフラの総合的な機能評価手法に関する研究、2023 年度日本造園学会全国大会、D21
- 7) 金 甫炫・他 (2023) グリーンインフラの社会実装に向けた課題に関する調査研究、2023 年度日本造園学会全国大会、D30
- 8) 金 甫炫・松本 浩・他 (2023) オープンデータを用いた緑被率及びグリーンインフラの機能評価に関する調査研究、応用生態工学会全国大会第 26 回、PA-1
- 9) 飛田 ちづる・松本 浩 (2023) 歴史的景観特性把握手法案作成のための基礎的な検討、2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 学術講演梗概集、717-718
- 10) 金 甫炫・松本 浩 (2023) 、Research on the Issues for implementation BIM to Landscape Architecture、18th International Landscape Architectural Symposium of Japan, China and Korea、13
- 11) 飯塚 康雄・松本 浩 (2023) 全国における街路樹の現況と推移 2022、樹木医学会第 28 回大会講演要旨集、60

2.3 雑誌・特集記事等

- 12) 松本 浩 (2023) 防災公園の新たな潮流としなやかなみどり、公園緑地、84(2)、28-31
- 13) 飯塚康雄 (2023) 街路樹の倒伏・落枝を抑制する点検・診断方法、月刊建設、68(1)、50-53

